

10月1日から

B型肝炎予防接種が定期接種となります

B型肝炎とは？

B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。B型肝炎ウイルスの感染を受けると、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合(この状態をキャリアという)があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人は肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こすこともあります。

B型肝炎予防接種とは？

B型肝炎予防接種をすることで、B型肝炎ウイルスへの免疫ができ、一過性の肝炎を予防できるだけでなくキャリアになることを予防できます。抗体獲得率の高い0歳の時期に接種をして、感染予防をすることが大切です。

※予防接種を受けても、お子さんの体質や体調等によって免疫ができないことがあります。

対象者は？

1歳未満(ただし、平成28年4月1日以降生まれの人)

※母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎予防接種を受ける場合は、健康保険が適用されるため、定期接種の対象外となります。

接種回数及び接種間隔は？

接種回数は3回です。

- ・1回目の接種から27日(4週)以上の間隔をあけて2回目を接種します。
- ・1回目の接種から139日(20週)以上の間隔をあけて3回目を接種します。

【注意！】

1回目の接種から3回目の接種までにはおおよそ半年間かかります。特に、平成28年4月、5月生まれの人で、10月1日の定期接種開始以降初めて受けられる人は、10月時点ですでに生後5~6カ月が経過しているため接種日程の管理が重要です。1歳を過ぎると定期接種の対象外となります。早めに主治医とご相談ください。

実施医療機関

指定医療機関での個別接種となります。対象者に郵送する個別通知に同封している指定医療機関一覧をご覧ください。
【問合せ先】健康課 ☎52-1138



「めがねのまち」の目の健康



鯖江市は、子どものときからの「目の健康づくり」に取り組んでいます。
今年度は、**6歳児視力検査**を実施します！

最近、遠くは見えても近くが見えにくい「^{きんげん}近見視力不良」のお子さんがあることが明らかになってきています。遠くは見えているため周囲の人は気づきにくく、小学校入学後まで放置すると読み書きの学習に支障が出たり、ボールなどを目で追う運動が苦手になってきます。ただし、6歳頃までに発見し治療することで改善が期待できます。

市では、昨年より3歳児健診に視機能検査を導入したところ、10人ほどの子どもが眼鏡による矯正などの治療を受け回復につながっています。

そこで、今年度から2年間は3歳時点で検査を受けていない6歳児に対し、集団での検査の機会を設けます。該当するお子さんには就学時健診の案内に通知が同封されますので、保護者同伴で必ず受けてください。

【今年度の対象予定】平成29年度に小学校就学予定の子ども(全員)

【実施日】10月15日(土)、16日(日)

※両日、受付時間は午前9時~11時30分、午後1時~3時30分

【実施会場】アイアイ鯖江

【実施方法】オートレフケラトメーター機器による視機能検査

※1人あたり約2~3分かかります。

【問合せ先】健康課 ☎52-1138・学校教育課 ☎53-2253

